

EVENT

●Maniwa job fair



5月27日(水)の5~7時間目に「Maniwa job fair」が開かれ、真庭市内外から20社以上の企業が訪れました。5・6時間目は企業の話の聞いたり、飲み物を飲んだりしながら交流する時間で、7時間目はビンゴ大会でした。企業の話の聞く時間以外にも、交流タイムで名刺交換をする際にいろいろな企業の話も聞けたので、「市内にも色々な企業があるんだなー」と思いました。工業系から食品系、製造業まで普段あまり触れられない職種の会社が多く、説明を聞くだけでも楽しかったです。ビンゴ大会も盛り上がっていて、景品も豪華でした。(河山・池田悠)

EVENT

●オープンスクール



6月11日(木)にオープンスクールが開かれ、蒜山中学校の生徒さんたちや真庭市内外の中学校の生徒さんたちが多数訪れました。蒜校の特徴を明確にしたプレゼンや学校案内、体験授業などを通してこの学校に興味を持ってきていたら良いなと思いました。

学校案内では、3年生や生徒会の生徒たちが学校を案内し、授業風景や学校の造りなどをしっかり見ることが出来たと思います。体験授業では、中学生の方々が選択した授業をそれぞれのグループに分かれて受けました。私はCPを担当しましたが、中学生も高校生も笑い合っていて良い雰囲気だったと思います。

今回のオープンスクールを通して、蒜校という存在を知ってもらえたと考えていますが、中学生の皆さんが笑って過ごせる高校生活を送れるような学校を見つけてほしいなとも思っています。私も良い経験が出来て、とても嬉しかったです。今から来年が待ち遠しいです。(國森)



勝山高校蒜山校地
学校新聞

ひるこう
タイムズ



第271号 R8.6.25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 探究・情報課

katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者
(取材・撮影・記事執筆)

蒜山ABC部(文化部)

2年生: 河山・佐々木・福岡

・池田悠・國森・多曾田

※ ●は生徒、●は教員担当の記事

行事予定

6月

29日(月)~7月3日(金)

期末考査

7月

1日(水) 休業日

3日(金) 体育祭顔合わせ

進路ガイダンス

7日(火)~9日(木)

CPIプロジェクト

インターンシップ

10日(金) 代休

18日(土) 終業式

蒜山ミライ会議

18日(土)~24日(金)

三者懇談

19日(日)~8月1日(土)

オーストラリア研修

※行事予定は、諸事情により変更・追加されることがあります。ご了承ください。

蒜山校地に教育実習生がやってきました！

6月1日～6月19日の約3週間、本校地卒業生の榎本康平先生が教育実習生として帰ってきました。担当教科は国語、担当学年は1年生で、生徒たちと積極的に関わりながら実習に取り組まれました。



NEWS

●教育実習を振り返って

私が在籍していた頃は、地元から通う生徒が大半を占めていました。私の代は入学時が8人で、総進の教室では、文字通りふたり肩を並べて学んだものです。今思えば、あれが(蒜校の)過渡期だったように思います。

教育実習で蒜校に戻ってきて、教室とは本来こんなに狭いものなのかと驚きましたし、こんなに多くの生徒の前で授業をするのかと身が引き締まりました。しかし、私の心配をよそに、生徒のみなさんはよく話し、よく笑い、よく考えてくれます。授業中に意見を求める場面は、私の技量の問題上、なかなか多くはありませんでしたが、それでも別のことをするわけでもなく、しっかり理解しようと、真剣に分かりづらい私の説明に耳を傾けてくれました。その姿勢が、自分も授業の技術の向上と教材研究でしっかり応えなければという気持ちを一層強くしてくれました。

高校での初めての考査を終えた一年生が、榎本先生はさぞ真面目な学生生活を送っていただろうと目を輝かせて聞いてくれる度に、心が痛くなりました。テスト勉強を頑張るぞと意気込んでいる生徒の姿、放課後に残って勉強している生徒の姿などは、新しい蒜山校地の姿そのもののように思います。

生徒に親身に寄り添い、授業に向き合う教師の姿を、先生という立場であるからこそ鮮明に見ることができた実習期間でした。生徒のみなさんには、悩むことや勉強で行き詰まることが多くあると思います。しかし今の蒜校には、自分を高めるための力を貸してくれる先生方、そして友人として隣に並んで立ってくれる人たちが沢山います。ぜひしっかりと頼って、人生をより良いものにしていってください。(寄稿:榎本先生)

4コマ漫画が特別に復活！



●榎本先生にインタビュー

Q 実習を通して学べたことを教えてください。

A 1つ目は、問いの立て方と、ヒントの出し方です。どんな風に文章を読んだらその答えにたどり着けるのかのヒントを出すのが難しかったからです。2つ目は、問いと問いを繋げることで、関連性を持たせるものにしないといけないという点も難しかったです。生徒から出た意見を、”どのようにしてまとめるのか”というところが今後の課題として残っています。

Q 蒜校の思い出、印象に残っていることはなんですか。

A 1つ目は、訳のわからない4コマ漫画を描いて、周りの人から褒められたことが思い出です。2つ目は、コロナ禍だったため、在校生もいない8人の入学式が印象に残っています。3つ目は、1年生の時に文化祭で劇をしたことです。その時に台本を書いたのですが、ギリギリまで”結末を変えるように”と担任の先生から言われていましたが、最終的に作家の矜持がそれを許さなかったため、元の台本通りの結末にしたというのも思い出です。

Q 蒜校生に一言ください。

A 一見”勉強”というものは無駄かもしれませんが、人格の形成のためだと思っています。(あまり勉強はしていませんでしたが、)何かに取り組もうとする姿勢は人格形成のために必要なことなので、これからも続けていってください。

(インタビュー:佐々木)